



光る知性 豊かな心 強い意志

南中生

長井市立長井南中学校

令和6年2月20日

校長 赤間幸生

長井の未来を育む少年会議

18日(日)長井市議会議場において、長井の未来を育む少年会議の発表会が開催されました。

これは長井市まちづくり青少年育成市民会議が主催し、市役所の若手職員の皆様、長井高校、長井工業高校、長井北中学校の代表生徒と共に、長井市のあるべき姿を思い描き、自分たちができることを考え、市に提案する、というものです。

長井市の未来を自分事として捉え、10代の若い視点から長井市の今を見つめ、課題に切り込み、アイデアを発信するということは、長

井市が発展するための大きな一歩です。SDGsにつなげ、長

井市の未来を明るくものにしようとする意気込みが伝わってきました。市長、副市長、教育長、市議会議長、参与の皆様からは、「若い視点と発想は素晴らしい」「アイデアがおもしろい」「ぜひ取り組んでみたい」等、大きな称賛の言葉が聞かれました。



1班：コンニチハ ハジメマシテ
人をつなぐ、国を結ぶ

2班：想いのママにスタンプラリー
食・ひと

3班：あいべ！ シン・黒獅子
～私たちが広げる黒獅子愛～

4班：俺が社長になったら
～星コンに願いを～

(株)四釜サッシセンター様より 学校図書をご寄贈いただきました

子ども達のためにとの思いから、たくさんの学校図書をご寄贈いただきましたことに心より感謝申し上げます。読書の醍醐味は、本を通じて時空を超えた絆に思いを馳せ、歴史と人生と、この世界を貫く普遍に迫ることにあります。本に親しむことで希望と勇気を沸かせる言葉を獲得する生徒に育てたいと思います。今後とも本校の教育活動をお見守りいただきますようお願い申し上げます。本当にありがとうございました。



躰(しつけ)と願いと



二十四節季で昨日は「雨水」。先週からグラウンドには雪は無く、田畑は耕運できるのではないかと思えるほど、今年は暦通りの気候になっています。気付けば2月も残りわずか。十日余りで3月3日、桃の節句。桃は魔除けの効果を持つとされてきました。雛人形には、娘の厄を引き受ける役目があるため、災いが降りかからず、美しく成長して幸せな人生を送れるようにという願いが込められています。女の子の節句とはいうものの、子の健全な成長を願う親の心は娘も息子も同じです。



しかし、またも東京や青森で幼い命が奪われる痛ましい事件がありました。それも親から。考えられない手段で。泣き叫んでいる幼子の様子が目に浮かび、胸が張り裂けそうになちぎれそうなくらいでした。



親は子供の幸せを願い、時に厳しい「しつけ」をすることはあります。「しつけ」は「躰」。社会や集団の規範、規律や礼儀作法など慣習に合った立ち振る舞いができるように、幸せな生き方ができるように、人に迷惑をかけないような心優しい人間になるように、等の願いをもって子育てに奮闘しているのが多くの親です。根底に「愛」が流れる親と子でありたいと願います。

